

## 「市長と語る会（栗野地区）」開催報告

- 1 日時 令和7年8月19日（火）  
18:30～19:40
- 2 場所 栗野公民館
- 3 対象者 主に栗野地区
- 4 参加者 19人



### 5 ご意見

意見	内容
国道8号の防災道路について	・国道8号線の防災道路（敦賀防災、大谷防災）の進捗状況と完成の見込みについて伺いたい。
栗野地区から高島市への道路について	・栗野から高島へ向かう連絡道路の状況について伺いたい。
休耕田について	・栗野地区の農地に休耕田が目立つ。コメ不足の中で、活用すれば増産可能だが、担い手不足が課題。所有者や地域だけでは限界がある。今後の対応策や取り組みは。
新幹線を活用した地域活性化について	・新幹線開業により金沢まで40分で行けるため、敦賀から通学可能な範囲が広がり、若者を地域に留めることができる。新幹線を活用した新たな地域活性化の取り組みができると期待している。
災害時の敦賀港の役割について	・東海地方や西日本で大地震や津波が起きて太平洋側の港湾都市が壊滅したら、日本海側の敦賀港が重要な役割を果たす。関西方面からの物資輸送などに備え、敦賀港の安全性や交通手段の整備が必要。
商店街の活性化について	・商店街を点から線に変え、大都市のように人が歩いて街が賑わう仕組みを考えてほしい。 ・例えば、市が中心街に大きな駐車場を整備し、自由に停められるようにするなどはどうか。
観光客のおもてなしについて	・観光客向けに、自立式地図の整備や、商店街のシャッターへの描画、観光ルート毎に色分けしたテープ貼付などを提案する。 ・タクシーやバスの運転手による挨拶や案内など、ソフト面のおもてなしも重要。市民みんなでお迎えするという気持ちで発案し協力していきたい。
市長の市政への取り組みについて	・市長就任から約2年経過し、ちょうど真ん中にあたる。 ・これまでの成果や課題、今後の取り組みや重点的に進めたいことを伺いたい。
北陸新幹線について	・敦賀から京都へサンダーバードで通勤通学する人がおり、大阪駅より京都駅での乗車率が高い。 ・そう考えると、北陸新幹線も京都を経由してほしい。
地方と都会の税の不均衡について	・地方で税を使って子どもを育てても、進学して都会へ移住し戻らない。地方で育てた分の税金を都会から返してもらおうような仕組みがあってもよい。